



## SSKU 青い麦の会通信 令和8年5月号

### 令和8年度「青い麦の会」定期総会が開かれました

日 時：2026年4月22日（水）

場 所：鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室

総会前、恒例のお食事会にはトントン特製のお弁当を戴き、楽しいひと時を過ごしました。

定時になり、総司会の岸部委員の発声で総会が始まりました。

宮杉会長の挨拶に続き、総会成立確認が行われました。

総会委員数 55名 本人出席 16名 委任状 27名 合計出席者数 43名となり、総会員数の過半数により総会は成立しました。

続いて、議長に岸部委員、書記に木幡委員、議事録署名人には宮杉会長と木幡委員がそれぞれ選出され、議事に移りました。

#### 議題

1. 令和7年度 事業報告及び決算報告
2. 令和8年度 事業計画及び予算
3. 令和8年度 青い麦の会委員



以上、全ての議案は満場一致をもって承認され、成立しました。

その他の協議事項、報告事項は以下の通りです。

- 1) 積立金の用途について  
前年度総会にて決定した通り、バザー運営のために物置の購入・設置・保管等に関して貢献してくださった、元「あんだんて」会員の方1名に謝礼を委員長から手渡した。  
また、今後、公的な補助金削減が予想されるので、活動費の補填に充ててはどうかという提案がなされた。
- 2) 運営委員の活動・ボランティア活動に対しての交通費手当を承認した。  
また、委員以外の会員のボランティア活動も有償とする。  
委員以外の会員の方たちに、会の諸活動への参加を呼び掛ける。
- 3) グループホーム 「ぴあはうす」について  
定員6名の全室入居に至る。管理・運営は「NPO 法人ゆうほ」。見学希望の方は、ゆうほまでご連絡してください。
- 4) 青い麦の会では、全国社会福祉協議会の「ボランティア活動保険」に加入しています。  
ボランティア保険は、活動中の「自身のケガ」と、「他人に与えた損害」をも補償します。活動中や活動との往復途中の事故も対象となります。  
会の活動に参加している方には、「加入カード（利用者証）」をお渡しします。

**令和8年度の委員は、下記のとおりです**

会長 宮杉郁子 会計 白畑昌弥 書記 木幡孝子

委員 樫原絢子 岸部昌代 香川愛子 高橋恭子 矢崎敏美 折井宏 高畠洋子

監事 高原文子

本年も、皆様と一緒に「支え合い」「学びあい」「働きかけ」を三本柱として活動してまいります。



**令和8年度「青い麦の会」年間行事 予定**

場所：鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室

時間：13:30～16:00

日 時	内 容
令和8年 4月8日（水）	運営委員会 総会資料準備
4月22日（水）	「青い麦の会」定期総会
5月13日（水） 20日（水）	高森信子氏勉強会 SST の練習 井上雅裕氏 ①「支える人の自己評価が 回復を加速させる」
6月3日（水）	話そう会 ①
6月10日（水）	運営委員会
7月1日（水） 8日（水）	佐藤加根子氏（ファイナンシャルプランナー） 「成年後見人・親亡き後について」 井上雅裕氏 ②
8月	夏休み
9月2日（水）	話そう会 ②
9月9日（水）	運営委員会
10月7日（水） 14日（水）	未定（社会福祉士・ソーシャルワーカー） 井上雅裕氏 ③
11月4日（水） 11日（水）14:00～	高森信子氏 勉強会・SST の練習 白石弘巳先生
12月2日（水）	運営委員会
12月9日（水）	井上雅裕氏 ④
令和9年 1月13日（水） 20日（水）	新年会 井上雅裕氏 ⑤
2月3日（水）	話そう会 ③
3月3日（水）	話そう会 ④
3月10日（水）	運営委員会 総会準備

## 5月例会報告

勉強会・SSTの練習 「親が変われば子も変わる」 講師：高森信子氏

日時：2026年5月13日（水） 13:30～16:00

場所：鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室

参加者：7名



参加者が少なかったのですが、高森先生のいつものように元気いっぱいのお声で勉強会は始まりました。以前と同じテキストを使ってのお話でしたが、更に深く学び直しました。

「親が変われば子が変わる」というタイトルについて、ある地方の家族会の方から、「病気の息子に、『お母さんは何回も勉強会だって出かけるけど、少しも変わってないじゃん』と毎度言われるので、このタイトルが嫌なんです」と言われたことがある、とのこと。

親は、子供のため善かれと思い、説得や助言、否定をしてしまいます。ところが、子供にしてみれば、普通になるなんてどうでもいいことなんです。家族は、安心をあげる役割に徹して、ありのままの今を認め、褒めることを心がけ、話をしっかり聴いてあげ、「大変だったね。辛かったね。」と言ってあげる。当事者の気持ちを解って寄り添ってあげることが親子間の信頼関係が出来ること、と話されました。当事者は敏感だということを、常に心して居ようと思います。忘れていた事も多くあり、繰り返し勉強することが大事だと感じました。また、発達障害の娘さんのことで悩んでいらっしゃる方が参加され、先生のお話がとても参考になったと、喜んで帰られました。

(I.M. M.S.)

お詫び：先月号に、「5月例会のお知らせ」を掲載しなかったため、皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

## 心理勉強会 第1回 報告

「支える人の自己評価が回復を加速させる」 講師：井上雅裕氏(心理カウンセラー そらいろ代表)

日時：2026年5月20日（水）

場所：鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室

参加者：12名

今年度の井上先生の勉強会第1回目でした。

心理の学びを重ねていくと、以前は理解できなかった行動にも、背景が見えるようになります。

⇒ 当事者の不安やこれ以上傷つきたくない気持ち、悪態をついているが、本当は理解してほしいと思っている。⇒ 苦しみの表現 = 別の意味があることに気付く。

家族が、早く良くなるために頑張してほしいという干渉や、どう接していいかわからないという諦めの雰囲気にも、精神的に苦しい人は強く影響を受けています。

しかし、支援者の意識領域（問題行動の背景が見えるようになる）が広がると、家庭に少しずつ受容的な雰囲気が生まれ、当事者は、安心の中で自分自身と向き合いやすくなっていきます。つまり、支援者の成熟は、当事者の回復環境そのものを変えていくのです。

支援者は、自分を肯定的に評価することが、結果として当事者を育て回復させるのです。当事者も、自己肯定感を育てることが出来、人生観の変化が発生し、回復に向かっていくようになります。(I.M.)

## 感想より

- ・今回も、実際の事例を沢山あげて話してくださり、とても勉強になりました。質問もしやすく、時間の経つのを忘れて過ごしました。日常生活に取り入れていくつもりです。

- ・この勉強会でのテーマを実際に生活の中で続けてみたところ、だんだんと良い状態になっています。現実が実証した形となっています。
- ・支援者の側にゆとりを持つことが大事。親が楽しみをもって6割を生きていると、4割で子どもを支えられる。自分の生き方を見直すきっかけでした。
- ・本人はB型事業所に通えているので、なかなか本人からの話は無いものの親は安心していましたが、本人の浮力を上げていけるようにもっと対話をしていく必要性を感じました。
- ・病気を治そうとするのではなく、その人の人格を育てるのが大切という話が勉強になりました。毎日を、娘と楽しく過ごしていけるようにしたいと思います。
- ・今日も、良いお話が沢山聞けて良かったです。本人の主体性を大事にし、対話をしていこうと思います。より仲良くなれるように。
- ・悩み、いろいろ考え込んで迷った毎日も、こちらに来ると癒されます。次回が楽しみです。

#### 4月活動報告

初旬 月刊「みんなねっと」発送  
17 鎌倉市社協障害者福祉団体部会

#### 5月活動報告

初旬 月刊「みんなねっと」発送  
14 じんかれん総会

#### 6月例会のお知らせ

「話そう会」今回は、家族会仲間で日頃の思いを何でも話し合い聴き合ひましよう

日時 2026年6月3日（水）13:30～16:00  
場所 鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室



#### 7月例会のお知らせ

勉強会「成年後見人・親亡き後について」講師：佐藤加根子氏（ファイナンシャルプランナー）

日時 2026年7月1日（水）13:30～16:00  
場所 鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室



#### 心理勉強会 第2回のお知らせ

心理を学び続けて、家族の安心感と余裕を育てましょう。家庭全体の空気が変わります。

日時 2026年7月8日（水）13:30～16:00  
場所 鎌倉市福祉センター2階 福祉団体活動室

発行人：特定非営利活動法人  
障害者定期刊行物協会  
〒157-0072  
東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
ヴェルドゥーラ祖師谷102  
TEL 03-6277-9611

編集人：青い麦の会  
〒248-0025  
神奈川県鎌倉市七里ガ浜東3-27-6  
TEL&FAX 0467-31-9323  
定価：50円（会員は会費に含まれています）